

登録コード	E2618900	開講年度	2026					
授業科目	柔道					担当教員	丸尾 泉	
英文授業名	Judo					副担当	藤田 育郎・渡辺 敏明	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限		対象学生	3-4年生
講義室	教育第2体育館			授業形態	実技	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	中学校および高等学校における柔道を指導する具体的なイメージを形成することができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	体育授業で生徒に柔道を指導するに相応しい知識技能を獲得することができる。概ね初段相当の実力をつける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	①柔道の基本的な技術を系統的に取得し、立技、寝技の乱取を行う。 ②安全に配慮した柔道の指導法について研究する。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、礼法の実際 第2回：後ろ受身、横受身、前回り受身の練習、受身の安全な指導法の実際、 第3回：後ろ受身、横受身、前回り受身の練習と立技からの実践的な受身の練習 第4回：投げ技（足技）の練習と乱取 第5回：投げ技（腰技）の練習と乱取 第6回：投げ技（手技）の練習と乱取 第7回：抑え技とその逃れ方の練習と乱取 第8回：絞め技とその逃れ方の練習と乱取 第9回：関節技とその逃れ方の練習と乱取 第10回：発達段階に応じた、投げ技における連続技とその練習 第11回：発達段階に応じた、抑え技への入り方とその練習 第12回：立技、寝技の総合的な練習と乱取 第13回：試合審判規定（柔道のルール）の理解と試合の運営 第14回：総合的な練習と技能評価							
(6)成績評価の方法	・体育授業で生徒に柔道を指導するに相応しい知識・技能を獲得できたか、以下の2点から総合して評価する。 ①学期末の技能テスト：50％ ②学期末レポート：50％ ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切である。(ii) その問題の背景を説明できている。(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。(iv) それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。(v) その上で自分の見解を提示できている。 以上(i) から(v) の5項目を満たしていれば「卓越している」。4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目を満たしていれば「やや上にある」。2項目を満たしていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	・次の回で扱う運動について、学習指導要領解説書を用いて事前学習を行うこと ・行った運動の指導のポイントをまとめておくなど事後学習を行うこと							
(9)履修上の注意	・実技を中心とした授業形態であるため、授業への取り組みを重視する。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業の前後に随時対応する。 緊急の連絡はメールで受け付ける。アドレス：quanwanwei@gmail.com							
【教科書】	適宜配布する。							
【参考文献】	適宜配布する。							